

9/18(日)

# 第64回秩父宮杯 埼玉県自転車道路競走大会

力走する選手に、沿道からご声援をお願いします。



## ■駐車場をご利用ください

- ①みどりが丘工業団地  
大田小・中学校付近まで無料シャトルバスを運行(レース中、随時往復運行)
- ②(株)昭通特装工場(富田農園まで徒歩2分)

**無料運行バス:**(往)秩父鉄道秩父駅(8:40、10:15)→富田農園付近→大田小・中学校  
(復)大田小・中学校(レース終了後)→富田農園付近→秩父鉄道秩父駅

## ■交通規制を実施します

**規制日時** 午前8時45分～午後0時30分  
**規制区間** 大田小・中学校→小柱西→諏訪橋→和銅大橋入口→東都秩父CC入口付近→富田農園→県道久長秩父線→大田小・中学校の周回コース  
※国道140号大塚交差点から新皆野橋、小柱方面への規制も実施します。  
※周回コース周辺は混雑が予想されます。迂回をお願いします。

問 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会実行委員会(県スポーツ振興課内)

☎048-830-6953

HP「秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会」で検索!

## ●上・中級者(75.3km・42.9km)

午前9時20分～開会式、秩父屋台囃子・ポタゲールによるPR、午後1時閉会式(予定)

### 【パレード走行】

秩父鉄道秩父駅前発(午前10時)→秩父公園橋→尾田蒔交差点→東都秩父CC入口

東都秩父CC入口で再スタートし6周半～3周半後、大田小・中学校でフィニッシュ。

## ●中・初級者(32.4km・21.6km・10.8km)

午前8時45分開会式、11時閉会式(予定)  
(地元の物産や飲食物の販売)

### 【周回コース】(3～1周)

大田小・中学校前発(午前9時)→小柱西→諏訪橋→和銅大橋入口→富田農園前→同校

消費生活センターからのお知らせ

## 食品ロスを 考えよう!



食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられた食品のことをいいます。

日本の食糧自給率はカロリーベースで39%といわれ、多くの食料を海外に依存しています。そのような中、食品廃棄は年間で2,801万t(※)といわれ、まだ食べられるのに捨てられた食品(＝食品ロス)が642万t(※)だそうです。(※)(農水省および環境省「平成24年度推計」)

## ●食品ロスの原因とその量

食品ロスの約半分は食品関連事業者からで、残り半分が一般家庭からだそうです。家庭から廃棄される食品ロスの主な理由は、食べ残し、消費・賞味期限切れで捨てられた、調理の際、食べられる部分も捨てられた、買い過ぎて使い切れず捨てられた等によるもので、その量は家庭における1人当たり一年間で24.6kg、茶碗164杯分のご飯に相当します。(茶碗1杯分のご飯を150gと仮定)

## ●食品ロスは資源の無駄

食品ロスは限りある資源を無駄にしていることとなります。ロス

を減らせば家計の節約になり、ゴミの減量は処分費用の削減につながり、税金の節約にもなります。

## ●食品ロス削減の取り組み

私たち消費者も身近なところから食品ロス削減に取り組んでみましょう。調理の際、材料は無駄なく使い、食べられる量を作るようにし、完食を心掛け、食べきれなかった場合は適切に保存、早めに食べるようにしましょう。夏場は特に食べきれぬ量を作るように心がけたいものです。

買い物に行く時は在庫品をチェックし無駄に買い過ぎない、消費・賞味期限が短い商品の場合はなるべく早く使い切るようにし、すぐに調理しない場合は期限の長い商品を選択し、適切に保管するようにしましょう。加工食品は適切に保管すれば賞味期限がきたからといってすぐに食べられなくなるわけではありません。期限表示を正しく理解し、ロスを減らしましょう。食品廃棄物の一部は再生利用されていますが、「もったいない」を合言葉に私たち消費者も食品ロス削減に向けてできることから一歩ずつ取り組んでみましょう。

## 食品ロスに関する問い合わせ

秩父市消費生活センター

☎25-5200

生活衛生課

☎25-5202

市役所では省エネルギーと公務効率向上のため、10月31日(月)まで「クールビズ」を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。問 人事課 ☎22-2207